

令和5年度 文化芸術による子供育成推進事業

文化施設等活用事業

Welcome to the Fun of Ballet!

ようこそ
バレエの
世界へ!

谷桃子バレエ団

ハイライト版

「白鳥の湖」全幕

2024年1月18日(木) 10:00開場 / 10:15開演 @ 二宮生涯学習センター ラディアン

文化芸術による子供育成推進事業 - 文化施設等活用事業 -

文化芸術による子供育成推進事業は、小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、又は小学校・中学校等に個人又は少人数の芸術家を派遣し、子供たちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を実施することにより、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的としています。文化施設等活用事業を設置することで、鑑賞の場を学校の外へ広げ、複数の学校で合同開催をする等、より幅広い体験の機会を創出するとともに将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的とします



About us!
谷桃子バレエ団について

20世紀のプリマバレリーナとしてとても人気のあった谷桃子が、第二次世界大戦後間もない1949(昭和24)年に設立しました。「白鳥の湖」「ジゼル」「ドン・キホーテ」など、たくさんの古典名作を上演しています。また、創作作品による公演にも熱心に取り組み、スウェーデンの前衛的な振付家クルペリによる「ロメオとジュリエット」をいち早く紹介するなど、新作や話題作を毎年上演しています。

谷桃子は、1984年に紫綬褒章、1993年に勲四等宝冠章を受章し、60年以上に亘り、振付の指導やダンサーの育成をするほか、日本バレエ協会の顧問を務め、日本のバレエ芸術の普及に大きく貢献しました。



バレエを知っていますか？

Do you know about ballet?

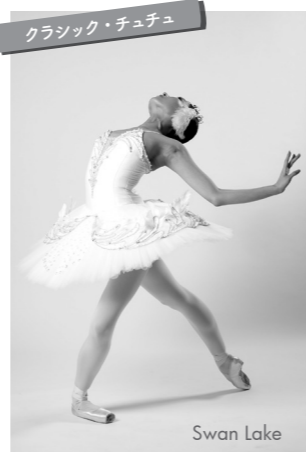
バレエを観る前にバレエのことを知ると、もっと楽しく理解も深まります。ぜひバレエが始まる前に読んでみてください。

バレエの歴史は、約500年前にさかのぼります。イタリアでは貴族が毎日のように宴を開き、音楽、歌、踊りなどの舞台背景や装置もいろいろ工夫されました。こうした舞踏会を「バレット」と呼びましたが、踊りだけでなく、劇も演じられ歌も歌われ、仮面をつけることもありました。

やがて「バレット」はフランスにもたらされて「バレエ」と呼ばれました。フランスでは歌よりも、踊りの方がよこばれました。とくに、バレエの王様といわれたルイ14世は舞台上で踊ることに熱中し、バレエを盛んにするために「王立舞踊学校」、「パリ・オペラ座」劇場を作りました。

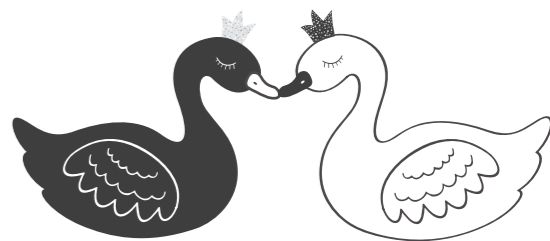
バレエにとって大切なことは、「軽く空を飛ぶように踊る人間の夢」を叶えることでした。そのために「トゥシューズ」があらわれました。トゥシューズをはくとつま先で立って踊ることができ、回転も自由です。衣裳は、「ロマンティック・チュチュ」と呼ばれる、円錐形に裾がひろがる丈の長いスカートをはき、ストーリー性を重視した作品である「ロマンティック・バレエ」が踊られるようになりました。

このバレエの華やかさにあこがれたロシアは、フランスから偉大な振付師マリウス・プティパを招きました。プティパは、ロシアの作曲家チャイコフスキーによる『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』などを世に送り出しました。衣裳では、裾が短くぴんと張った「クラシック・チュチュ」があらわれ、トゥシューズとあいまって、バレリーナは、さらに美しい舞台を見せることができるようになりました。このような作品を「クラシックバレエ」と呼ぶようになりました。



バレエ「白鳥の湖」について

ロシアの作曲家チャイコフスキーが作曲したドラマティックバレエ。1877年の初演では失敗作といわれましたが、1895年に二人の名振付家プティパとイワノフが振付け直したところ大変好評を得て、今では「眠れる森の美女」と「くるみ割り人形」と共にチャイコフスキーの三大バレエと呼ばれ、クラシックバレエの代表作品として世界中の人々に愛されている作品です。



あらすじ

悪魔ロットバルトの呪いで白鳥の姿に変えられた美しいオデット姫とジークフリート王子との永遠の愛の物語——夜の間だけ人間の姿に戻ることが出来るオデットと湖のほとりで永遠の愛を誓った王子。しかし舞踏会に現れた、オデットそっくりに似せた悪魔の娘オディールに心を奪われ、愛を誓ってしまいます。



悪魔の企みにのってしまっ王子は自らの過ちを悔いオデットに謝罪します。王子を許すオデットでしたが、もう一生魔法が解けないことを悲しみ、湖に身を投げてしまいます。愛するオデットを追って自らも身を投げる王子……二人の強い愛の力の前に悪魔は滅びるのでした。

みどころ

一人二役

四羽の白鳥

グラン・フェット・アン・トゥールナン

「オデット（白鳥）そっくりのオディール（黒鳥）」という役柄のため、同じダンサーが2つの役を踊り分けます。純粋な美しさをもつ白鳥と魔性の美しさをもつ黒鳥。正反対の表現をしないといけない難しさがあります。ぜひ表情の変化に注目してみてください！

「四羽の白鳥」という有名なシーンです。4名のバレリーナがずっと手をつないだままはなさずに踊ります。動きが制限されているなかで、手足・首の角度もピタリとそろえなければいけない、かなりの高難度！お友達と鏡の前でチャレンジしてみよう！

3幕最大の見せ場ともいえるオディール（黒鳥）のグラン・フェット・アン・トゥールナン（回転）！ムチがしなるように足を曲げ伸ばし、音楽に合わせて何回もターンを繰り返します。人間離れたこの技はまさに悪魔の娘ならではの！さあ、何回転しているか数えられるかな？

踊りだけで物語が分かるってホント!?

バレエの作品の中で物語を進めていくにあたり、セリフの代わりとなるジェスチャー（しぐさ）を「マイム」と言います。今回ご覧いただく『白鳥の湖』に出てくるマイムをいくつかご紹介！いろいろ組み合わせて、お友達と声を出さずに会話にチャレンジ！ちゃんと気持ちが伝わるかな？

わたし

自分の胸に手を当てます

あなた

相手に向かって手を差し出します

イヤです

相手から顔をそむけて手で押しどけるようにします

どうして？

両手を左右に広げます

おど踊りましょう

両手を頭の上にあげながらクルクルと一度回します

なんて美しい！

右手の甲でほほの周りを左から右へなでるようにします。

涙

両手を目の前から波打たせながら上から下げていきます

お願いします

体の前で両手を組み前に押し出します

バレエの足のポーズをやってみよう！

バレエは決められた位置に手足を動かす・止めることで全員がきれいにそろって踊ることが出来ます。その決められた位置というのは、多くの人々が好む黄金比、というバランスをもとにつくられました。それが基本となる「5つのポジション」です。さあ、この足の位置で背すじをピンとして立ってみよう★

